

神戸学院大学 第3次中期行動計画 中期計画（第3層） 2023年度達成度評価表 分野：社会貢献

		評価	理由
中期目標	地域連携、産学官連携の強化により、広く社会に貢献し、大学の社会的責任を果たします。		
中期計画	1 地域連携ネットワークの推進と拡充	A	他の教育機関、自治体、企業、その他の団体等との連携事業を新規・既存含め数多く実施し、地域社会との連携強化を図ることができている。特に、複数の連携事業において学生の成長度アンケートを試行実施し、検証が進んでいる点は評価できる。また、新たに設立した地域連携プラットフォーム「大学都市神戸産官学プラットフォーム」の発起人大学として、運営においても重要な役割を果たすことができ、様々なプロジェクトにも参画し、産学官連携の推進に寄与している。今後は、学部・部署間での連携や学内周知により一層力を入れ、より事業の推進を図ることが望まれる。
中期計画	2 教育研究成果の社会への還元	A	各学部における教育研究成果の社会への還元が大いに推進できている。特に経済学部では、各世代に合わせた講座や、企業と学生の連携による調査・検討会の実施、地域・公共団体との意見交換の実施、市民向けフォーラムやシンポジウムの主催・参画等、活発に実施しており、教育研究成果の社会への還元が活発な点は長所である。また、生涯学習事業については、半数の学部が新規企画を実施したほか、各事業の参加者の満足度も高く推移しており、評価できる。今後も、既存事業の検証を行いつつ、継続的かつ発展的な各事業の実施を期待する。
中期計画	3 ボランティア活動の推進と支援体制の充実	B	学生ボランティアコーディネーターの育成に向けて、学生スタッフと職員で研修プログラムの開発を進め、ワークショップ等の充実を図ることができている。また、学生スタッフが主体となった広報活動やワークショップ等の実施により、ボランティアプログラムの参加者数の増加や学生自身の成長につながった点は評価できる。今後は、実施した研修の点検・評価を行いつつ、ボランティア活動の充実に向けた取り組みの推進を期待する。

評価 S：目標よりはるかに上回る、A：目標をやや上回る、B：おおむね目標どおり、C：目標をやや下回る、D：目標をかなり下回る